

学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	金 由羅
学位の種類	博士(学術)
学位記番号	都市博甲第1921号
学位授与年月日	2017年 3月 24日
学位授与の根拠	学位規則(昭和28年4月1日文部省令第9号)第4条第1項及び横浜国立大学学位規則第5条第1項
学府・専攻名	都市イノベーション学府 都市イノベーション専攻
学位論文題目	郊外住宅団地における多世代近居からみた世帯間相互支援行動に関する研究
論文審査委員	主査 横浜国立大学 教授 大原 一興 横浜国立大学 教授 佐土原 聡 横浜国立大学 教授 高見沢 実 横浜国立大学 教授 大野 敏 横浜国立大学 准教授 藤岡 泰寛

論文及び審査結果の要旨

本論文は、人口の高齢化が進む郊外住宅団地において見られる、高齢者世帯と子供世帯との近居をとりあげ、両者の世帯間の外出行為を通じた交流行動や日常生活やケアに関する相互支援の内容から、今後の新しい生活のしかたのひとつの選択肢としてのネットワーク居住のあり方とその現代的な意義について考察したものである。

全体で5章より成り、第1章で研究の背景と目的、方法について述べた後、第2章では横浜市内の集合住宅団地における近居の実態と意識を分析し、親と子の相互交流の状況を示した。第3章では建替によって社会サービスが整備された住宅地においてその前後の比較をふまえ、生活支援ニーズについては社会サービスが担うものの近居ニーズは低くなくむしろ安心感などが高い傾向があることなどが示された。第4章では、両地域における近居事例の具体的交流事例を詳細に検討し、第5章で総括している。

本論文においては、高齢者側からの子育てへの参加、子世帯側からの高齢者への生活支援などの実態を調査している。そこに生じている生活実態を考察することから、現状の課題と意義をとらえ、家族の関係と相互支援、さらにインフォーマルケアのあり方、ひいては社会サービスの必要性などについての示唆を得る研究として価値のあるものと言える。

注 論文及び審査結果の要旨欄に不足が生じる場合には、同欄の様式に準じ裏面又は別紙によること。